

教科用図書の調査研究報告書（総括）

種目名	保 健
-----	-----

発行者	総合的な所見
東 書	<p><b>第1の観点</b></p> <p>①導入は、絵や写真を見て「気づく・見つける」という活動から入り、学習の目標につながるようになっている。</p> <p>②大切な栄養に関する情報については、イラストを多く用い、比較的少ない文量で説明されている。生活の中に運動を取り入れるとよい資料が、別資料として記載されている。</p> <p>③「けがの手当」の単元では、実習の例が文章と絵で示されている。また、手当の方法を理由とともに記入させることができるようになっている。実験では、写真を用いて行い方が説明されている。また、QRコードから実習の内容を確認することができる。</p> <p><b>第2の観点</b></p> <p>①学習の進め方や課題解決の過程が各単元の先頭ページ右上に示され、キーワードを書き込みながら児童が主体的に振り返ることができるような構成となっている。</p> <p>②単元導入で、写真を基に自分の経験について振り返り、課題設定をする流れになっている。「ステップ3深める・伝える」「ステップ4まとめる・生かす」で実生活・実社会につなげて考えられるようになっている。</p> <p><b>第3の観点</b></p> <p>①単元全体の目標と項目ごとのつながりが、イラストで示されている。また、小単元ごとに4つのステップが示され、それぞれの学びに応じた資料が記載されている。</p> <p>②単元の終わりに「資料」として学習を広げたり深めたりする内容が、単元の一部の終わりに「発展」として発展的な内容が掲載されている。また、QRコードから資料を確認することができるようになっている。</p> <p><b>第4の観点</b></p> <p>①ジェンダーに配慮したキャラクターが取り入れられている。要所でQRコードを掲載し、動画やスライドを見て理解を深めたり、ワークシートや思考ツールを活用したりすることができるようになっている。</p> <p><b>第5の観点</b></p>

	<p>①自分の考えを書いたり，話し合ったりする「深める・伝える」場面と，授業で分かったこと等を記述する場面が設定されている。</p>
大日本	<p><b>第1の観点</b></p> <p>①「ここで学ぶこと」を初めの方に示し，「調べよう」に進んでいく構成になっている。体験から気付いたことを課題につなげる工夫がされている。</p> <p>②食育に関する情報については，写真1枚と比較的多い文量による説明となっている。運動の効果については，簡単に紹介されている。</p> <p>③「けがの手当」の単元では，実習の例が文章と絵で示され，それをもとに手当をどのように行うか記入させる構成となっている。実験では，図と写真をもとに行い方の説明がされている。また，QRコードから実習の内容を確認することができる。</p> <p><b>第2の観点</b></p> <p>①学習の進め方や課題解決の過程は，各ページの左端に赤文字で示し，振り返りは，児童が今後の自分の生き方について，短い文章で記述するような構成になっている。</p> <p>②学習の進め方や課題解決の過程は，各ページの左端に赤文字で示されている。「活かそう」で実生活・実社会につなげて考えられるようになっている。</p> <p><b>第3の観点</b></p> <p>①もくじと単元のはじめのページに，その単元でどのような学習をするのかが提示されている。各単元の終わりに，単元の振り返りとして“〇年のまとめ”が設定されている。A4版にまとまっていて，1単元時間の内容が見開き1ページに収まるようになっている。</p> <p>②単元の終わりに「もっと知りたい」として発展的な内容が，単元の一部に「発展」として発展的な内容が掲載されている。ワークシート形式で記入欄が設けられている。QRコードからウェブサイトで資料を確認することができる。</p> <p><b>第4の観点</b></p> <p>①先生，ナビゲーター，児童のキャラクターが取り入れられている。各単元の冒頭にQRコードが配置され，関連する動画等をまとめて見ることができるようになっているとともに，児童の興味を引くようなQRコード資料も用意されている。</p> <p><b>第5の観点</b></p> <p>①学んだことと身の回りのことを関連付け，よりよく生活する方法を考えて記述する「活かそう」という場面が設定されている。また，行動</p>

	<p>面で気を付けることを記述する欄と環境面で気を付けることを記述する欄が設けられている。</p>
<p>大修館</p>	<p><b>第1の観点</b></p> <p>①「課題をつかもう」の活動から「きょうの課題」につながられるようになっている。著名人のインタビューから、課題について考える工夫が取り入れられている。</p> <p>②食育に関する情報について、イラストと簡単な文章で記載し、バランスのよい食事について考える活動が設定されている。運動の効果について、イラストや文章で説明し、運動や遊びの活動例が多く記載されている。</p> <p>③「けがの手当」の単元では、実習の例が文章と絵で示されている。手当の基本を提示している箇所もあり、実習の振り返りが記入できる。QRコードから学習内容に応じた保健クイズを利用することができる。「調べよう」や実験で、調べ方について多くの写真や図で説明されている。</p> <p><b>第2の観点</b></p> <p>①学習の進め方や課題解決の過程は、各学習場面の先頭に目立つように示されている。振り返りは、児童が今後の自分の生き方を短い文章でまとめるとともに、その理由も記述するような構成となっている。</p> <p>②「心の発達」の単元では、導入で、イラストを基に1年生のころと5年生のころの様子を比べる活動が設定されている。</p> <p><b>第3の観点</b></p> <p>①単元と学びを広げたり、深めたりする資料の場所が分かりやすく示されている。単元の初めに著名人のインタビューを掲載し、興味・関心を高める工夫がされている。それぞれの単元で「課題をつかもう」「話し合おう」「調べよう」「考えよう」の順番に提示され、必要な資料が記載されている。</p> <p>②単元の終わりに「もっと学びを広げよう！深めよう！」として発展的な内容が、単元の一部に「発展」として発展的内容が掲載されている。ワークシート形式で記入欄がある。QRコードから保健クイズや、別のホームページでの資料確認ができるようになっている。</p> <p><b>第4の観点</b></p> <p>①健康に関する様々な職業に就く人々をキャラクターとして取り入れている。また、各単元末にQRコードを掲載し、クイズや様々なコンテンツを見ることができるようになっている。</p> <p><b>第5の観点</b></p>

	<p>①授業によって異なる内容の「まとめ（生かそう・伝えよう）」という自分の考えを記述する場面が設定されている。授業のまとめでは，気を付けたい場所を記述する欄と，これから気を付けることを記述する欄が設けられている。</p>
<p>文教社</p>	<p><b>第1の観点</b></p> <p>①導入では「動機付け」（考えたり，調べたりする活動）から始まるようになっている。初めに「学習のめあて」とともに「本時の Menu」が示されている。</p> <p>②育ちざかりに必要な栄養の情報は，イラスト，文章による説明となっている。比較的情報量が多い。適度な運動と生活の中で続けられる運動の紹介と，体へのよい影響について記載されている。</p> <p>③文章での記載が多く，実習の例示も多い。絵やポイントで注意を促している箇所もある。手のよごれの実習について，多くの写真や図で説明されている。QRコードから動画で内容を確認することができる。</p> <p><b>第2の観点</b></p> <p>①学習の進め方や課題解決の過程が，各単元の先頭ページ右上に示されている。振り返りは「もう一步先の自分へ」という名称で，今後の生き方を文章で記述するような構成になっている。</p> <p>②「心の発達」の単元では，導入で数枚のイラストを基に，成長の仕方が示されている。「Mission もう一步先の自分へ」で実生活・実社会につなげて考えられるようになっている。</p> <p><b>第3の観点</b></p> <p>①単元の初めに単元全体の学習課題が示されている。各単元の終わりに，単元の振り返りとして“わたしの〇〇宣言”が設定されている。小単元ごとに3つの Mission がある。Mission 1，2の中に2つの Stage があり，それぞれに応じた資料が記載されている。</p> <p>②単元の途中や終わりに，発展的な内容として「もっと知っておこう課」に関連する情報のQRコード，「もっと考えよう課」で発展的内容が掲載され，単元の一部に「Episode」として学習に関連する情報が掲載されている。</p> <p><b>第4の観点</b></p> <p>①児童や先生，仙人など多くのキャラクターが取り入れられている。もっと知りたい情報のリンク先や著名人からのメッセージがQRコードで示されている。</p> <p><b>第5の観点</b></p> <p>①今後どのようにしていきたいかを考えて記述する「もう一步先の自分</p>

	<p>へ」という場面が設定されている。授業のまとめの場面では、これから気を付けていきたいことを記述する欄があり、どちらにも記述例が示されている。</p>
<p>光 文</p>	<p><b>第1の観点</b></p> <p>①4コマまんがを通して、課題を把握できるようになっている。資料を活用して振り返る活動が取り入れられており、自然な流れで課題設定ができるようになっている。</p> <p>②食育に関する情報は、イラストと写真と文章をバランスよく活用して、簡潔にまとめられている。日常生活の運動・運動の種類と時間（運動量）について記載されている。また、運動と遊びの例が別資料で記載されている。</p> <p>③実習の例示が文章と絵で行われ、事例を通して学んだ後で、学びを生かせる内容を考えて記入できる形となっている。「調べよう」で、疑問文の課題とともに写真や図で実験が説明されている。QRコードから動画や資料を確認することができる。</p> <p><b>第2の観点</b></p> <p>①学習の進め方や課題解決の過程は、各学習場面の先頭に目立つように示されている。振り返りは、児童が今後の自分の生き方を短い文章でまとめるとともに、その理由も記述するような構成となっている。</p> <p>②単元導入で数枚のイラストがあり、その場面のようなことはありましたかと問いかけ、導入としている。「学んだことを生かそう」で実生活・実社会につなげて考えられるようになっている。</p> <p><b>第3の観点</b></p> <p>①もくじに学習内容の項目と学習課題につながる内容が掲載されている。単元の初めに4コマ漫画が掲載されており、その単元で何を学ぶのかを考えさせるようになっている。「見つけよう」「調べよう」「話し合おう」「生かそう」の4つの順番でそれぞれに必要な資料が記載されている。</p> <p>②単元の終わりに「さらに広げよう深めよう」として発展的な内容が、単元の一部に「発展」として発展的内容が掲載されている。QRコードから資料を確認することができる。</p> <p><b>第4の観点</b></p> <p>①児童2人、先生2人と4人のキャラクターを取り入れ、学習に役立つウェブサイトにつなぐためのQRコードが毎単元の冒頭と所々のまとめに配置されている。</p> <p><b>第5の観点</b></p>

	<p>①学んだ内容と身の回りのことを関連付けて自分の意見を書く「学んだことを生かそう」という場面が設定され、行動面と環境面について記述してまとめる欄が設けられている。</p>
<p>学 研</p>	<p><b>第1の観点</b></p> <p>①自分の体験を思い起こすこと（ふり返り）で、課題に迫るような構成となっている。学習課題が太字で大きく示されている。</p> <p>②食事のバランスガイドの情報は、イラストと写真、文章で簡潔にまとめられている。よりよい発育、発達のために、運動と食事、休養・睡眠のそれぞれに目標を立てることができるようになっている。</p> <p>③文章を書き込ませる部分が多い。実習の例が文章や絵で示され、チェック欄も設けられている。実習後の気付きや振り返りを記入させる形となっている。QRコードから実習の動画を確認することができる。「科学の目」で、写真やイラストを使って実験が説明されている。</p> <p><b>第2の観点</b></p> <p>①学習の進め方や課題解決の過程は、先頭ページの左上に時計のような形で示されている。児童が今後実行したいことと学習の進め方に対する振り返りを、文章で記述するような構成となっている。</p> <p>②単元導入で、写真や絵を基に今までの経験を振り返る活動が設定されている。「ここまで学習したことを生かしてどんなことができそうか書いてみましょう」「学習の進め方について自分で工夫したことや、もっと学習したいこと、なるほどと思ったことを書いておきましょう」で実生活・実社会につなげて考えられるようになっている。</p> <p><b>第3の観点</b></p> <p>①もくじが詳しく書かれている。単元の初めに、その単元で何を考えたり、話し合ったりしたらよいのかが示されている。学習課題を意識させるような吹き出しが掲載されている。小単元の初めに「予想しよう」でイラストを提示し、「1資料を読み取る」「2原因を話し合う」「3学びを生かす」の3つ段階でも、それぞれに応じた資料が記載されている。</p> <p>②単元の終わりに「ほけんのはこ」として発展的な内容が、単元の一部に「もっと知りたい・調べたい」として発展的内容が掲載されている。</p> <p><b>第4の観点</b></p> <p>①児童、担任、養護教諭のキャラクターが取り入れられている。毎単元の終末部にシートが読み込めるQRコードが配置され、所々に様々なコンテンツを見ることができるQRコードも用意されている。</p>

#### 第5の観点

①学習の流れの中に、〇〇について話し合う場面が設定されている。授業のまとめの場面では、もっと学習したいことを記述する欄が設けられている。